

日本と朝鮮

愛知版

No.479

2024.2



* 全月の花・マシ

韓国の法廷で裁かれる被告三菱重工 韓国YTNの質問にも強弁「日韓請求権協定で解決済み」

〈大韓民国大法院判決に対する三菱側の立場を訊ねる質疑書〉

2024年2月2日

はじめまして。私は韓国のニュースチャンネルYTN報道制作局企画探查1チームの柴敏佑(シ・チョルウ)と申します。

三菱重工業が日帝強制占領下の強制動員被害者に対する謝罪と被害賠償問題についてお尋ねします。去る2018年10月、韓国大法院(最高裁判所)は名古屋の三菱重工業に強制動員された被害者に賠償せよという判決を下しました。以後、三菱に関連した日帝強制動員被害訴訟が、下級審で相次いで被害者側に勝訴判決を出し続けています。日本の裁判所も三菱が、太平洋戦争時代に労働力確保のため、朝鮮半島から若い生徒たちを欺瞞し、日本へ強制連行して強制動員させた事実を認定しています。

三菱重工業が日帝強制占領下の強制動員被害者に対する謝罪と被害賠償問題についてお尋ねします。去る2018年10月、韓国大法院(最高裁判所)は名古屋の三菱重工業に強制動員された被害者に賠償せよという判決を下しました。以後、三菱に関連した日帝強制動員被害訴訟が、下級審で相次いで被害者側に勝訴判決を出し続けています。日本の裁判所も三菱が、太平洋戦争時代に労働力確保のため、朝鮮半島から若い生徒たちを欺瞞し、日本へ強制連行して強制動員させた事実を認定しています。

三菱側は去る2010年7月から2012年7月まで「三菱女子勤労挺身隊事件」について日本と韓国の市民団体等と、強制動員問題を解決するための交渉を試みたことがあります。当時、交渉は最終的に決裂しましたが、三菱側が日帝強制占領下の強制動員問題に対して、前向きな姿勢を備えるだろうという期待もありました。しかし、それ以後三菱側は、韓国人強制動員被害者問題については無視する姿勢で一貫しています。

質問内容	2月6日午前、三菱重工グループ戦略推進課広報部 石井大策広報グループ員から来た回答
1. 三菱重工業は日本政府の朝鮮半島に対する不法な植民地支配と侵略戦争の遂行過程で行われた反人道的な行為と、このせいで80年近い歳月の間、苦痛を受けている被害者に対して、どのような立場を持っておられるのか、答弁をお願いします。	1. 日韓両国間及びその国民の請求権に関する問題は、日韓請求権協定により「完全かつ最終的に解決」されているというのが当社の立場であり、且つ現在係争中の案件にかかることから、コメントは控えさせていただきます。
2. 2018年10月、韓国大法院の判決で確定した三菱重工業の被害賠償金は、未だ梁錦徳（ヤン・クムドク）さんが受け取れないでいます。三菱側から、会社の立場として謝罪を表明し、賠償金を支給する用意があるのかお聞きします。	2. 日韓請求権協定により「完全かつ最終的に解決」されているというのが当社の立場であり、そのようなことをする予定はありません。
3. 去る1月18日、韓国の光州地方裁判所は三菱重工業を相手取って日帝強制動員被害者が起こした訴訟で、原告の一部勝訴という判決を下しました。2月15日韓国の光州地方裁判所民事部は、2019年提訴してから実に57か月ぶりの判決を出す決定しました。最近、韓国の裁判所では相次いで三菱側と日本の企業を相手にした日帝強制動員被害訴訟で、原告側の勝訴判決を出し続けています。これに対する三菱側の立場は、どういものですか？	3. 日韓両国間及びその国民の請求権に関する問題は、日韓請求権協定により「完全かつ最終的に解決」され、如何なる主張もだきなくなったと理解しています。これに反する一連の判決及び手続きは極めて遺憾というのが当社の立場です。
4. 「名古屋の三菱訴訟を支援する会」等、日本の市民団体は現在まで、三菱重工業本社前で「金曜行動」を続けています。日本の市民団体は「三菱側が会社として被害者の問題に耳を傾け、謝罪と被害賠償をしなければならぬ」と主張します。これに対する、三菱側の立場をお聞きしたいと思います。	4. 日韓請求権協定により「完全かつ最終的に解決」されているというのが当社の立場です。
5. 私どもは現在〈YTN探查報告書記録〉というドキュメンタリーを製作しています。3月に放送予定の「日帝強制動員被害者を助ける日本人」という主題で取材中です。YTNの取材陣は三菱側の立場を聞くために、2月9日東京の三菱重工業本社を訪問する予定です。取材陣の質問に対する三菱側の好意的な立場表明を期待し、関係者のインタビューの要請に応じてくれるようことを丁寧に要請いたします。	5. 現在係争中の案件であり、当社としてインタビューに対応する予定はありません。

鑑賞のおすすめ



【その 92】

書籍『夜の河を渡れ』
(1990年)
梁石日 著

伊藤 一郎

(koreamoviereculture@yahoo.co.jp)

朝鮮文化を知る会



バブルに向かう東京夜の街
付度なしに描く「在日」の風景

本書は朝鮮学校卒業生を主人公として書かれた長編小説である。

本書が出版された一九九〇年は、朝鮮学校をとりまく環境は少し違っていった。朝鮮学校の大学受験資格認めていたのは、一部の私立大学だけであり、自分の希望する大学を受験しようとした朝鮮学校の学生たちのなかには、朝鮮学校に通いながらも日本の高校の定時制等にも在籍しなければならなかった人々もいた。

また現在は朝鮮学校への高校無償化適用を求める行動を朝鮮学校の学生や日本の市民たちが行なっていたが、当時、街頭での署名活動を行なっていたのは朝鮮高校の全国高校総合体育大会への参加問題であった。

朝鮮学校が正式に全国高校サッカー選手権大会やインターハイに参加が認められるようになったのは九〇年代に入ってからである。その理由は当時、全国高等学校体育連盟が加盟資格を学校教育法第一条にいう「学校」(いわゆる1条校)に限

定して、その他の競技団体もこれにならっていたからである。

本書の主人公である東京朝鮮中高級学校に通っていた卒業生たちの会話や人生の中にも、かつて朝鮮学校がすべての公式試合に出場できなかった差別の歴史の憤りと悲しみが暗い影を落としている。本書のあらすじは、以下のとおり。

小説の舞台は、バブルに向かう時代の新宿の歌舞伎町。

朝鮮学校の学生時代からの親友の李哲博と朴政道は、ともに歌舞伎町で事業を行う経営者であった。二人は朝鮮学校でかつてはボクシングとサッカーの選手であった。二人の絆はとても深い。時折、意見の違いから激しくぶつかり合うことはあるにせよ、そのエネルギーは二人の並々ならぬ上昇志向のバイタリティーをさらに高めるものであった。

そんな彼らがさまざまな業種での事業を試み、さまざまな挫折を経験しながらも一攫千金を狙っていた。そんな

か、彼らの始めたゲーム屋が
 大当たりし、事業を拡大して
 いく。

彼らの事業拡大の欲望は際
 限がない。法の網をくぐりな
 がら、違法行為が繰り返り、事
 業を拡大していったが、幸運
 はいつまでも続かなかつた。
 ある日、複雑な事情があるビ
 ルの買収によって窮地に陥
 る。裏切り、そして反社会的
 勢力の介入によって、結局全
 財産を失ってしまった。

しかし彼らは打ちのめされ
 ながらも、不思議にもその挫
 折に懲りずに次の手を考えて
 いく。借金地獄になり失うも
 のがない状況に追い込まれな
 がらも、さらに大きな商売の
 賭けに出ていくという利那的
 な生き方を新たに選択した二
 人は、以後もさまざまな欲望
 がうずまくの街・新宿の夜
 河を渡っていく。

本書を久しぶりに手に取っ
 てみたら、新宿の歌舞伎町の
 区役所どおりの夜の風景、鼻
 につく独特の匂い、雰囲気
 リアルに蘇ってきた。

以前、その周辺にしばしば

訪れていた飲食店があり、そ
 の店の人々との会話と本書
 の内容が交差した。朝鮮料理
 を前に熱く語る人々。青
 唐辛子やんにくをそのまま
 かじりながら、時折マッコリ
 を口に含んで黙々と食事をす
 る人。一品の料理を注文した
 ら、机いっぱいミツパンチ
 ヤン(常備菜)があつという
 間に並べられ、そのうちの
 一つを食べ終わると際限なくお
 かわりが出てくるお店。さま
 ざまな風景が目につかなくて止
 まらない。

筆者がこの街を訪れたのは
 日本のバブル景気が終了しつ
 つある時代であつたため、本
 書の中の主人公たちが生きた
 時代とは少し異なるかもしれ
 ないが、一冊の本がきっかけ
 になり、頭の片隅にあつた記
 憶の断片が水中花のように膨
 張していくような不思議な体
 験をした。

主人公の二人の周りには、
 朝鮮学校時代の同級生、後輩、
 また民族団体の幹部といつ
 た、在日社会の一般的な人間
 関係が描かれている。同級生
 の参加する劇団が公演を行な

つた際には、大量の料理や酒
 をふるまうなど、主人公たち
 は常に熱く生きている。

本書の評価はいろいろある
 かもしれないが、当時の在日
 の風景を付度なしに描いた傑
 作である。たまたま手にとつ
 た本書をきっかけに、以後、
 著者の梁石日氏のそのほかの
 著書もまとめて読んでみよう
 という気にさせられた。

最後に、本書において二〇
 〇〇年以前に、東京で朝鮮人
 学生に対して向けられた「朝
 鮮人狩り」にも言及している
 ことに触れなければならな
 い。

当時の日本は、朝鮮総連を

「危険な団体」とし、朝鮮人
 に対する国土館大学(注1)
 や日本の市民による暴力が事
 実上黙認されていた。ことあ
 るごとに繰り返された朝鮮人
 の子供や女性に対して向けら
 れた狂気を、警察や大部分の
 マスコミ、日本の市民たちは
 見て見ぬふりをした。そして
 今日現在も、その狂気によつ
 て抑圧された人々は暴力にさ
 らされている。

(注1)本書では「K入学」
 と書かれているが、あえて
 その学校名を明らかにする。
 当時、多くの朝鮮人の口か
 ら、その具体的な大学名を
 複数回聞いている。

投稿歓迎

月刊「日本と朝鮮」愛知版「メモ」

- 記事・原稿は、随時受けつけています。毎月、十五日ごろまでにお寄せ下さい。書評、時評、話題など歓迎します。
- 身近にある交流・お付き合いの情報をお寄せ下さい。

歴史の心

第11講 世宗の治世

金宗鎮

世宗の治世は、事大以少の礼を以て、明を中心とする、国際秩序を尊重しつつ、朝鮮の文化を、中国をこえること、朝鮮民族の本領を発揮することにあつた。

民族語の文字を創りだし、民族音楽の向上をめざし、朝鮮の天文学と農業技術の向上をめざした。

学問好きで、幼小のころ、『春秋左氏伝』、『楚辞』をそれぞれ一〇〇回、二〇〇回も読んだと言われる。

王位にあつては、儒学知識人を心服させるリーダーの資質を有していた。三二年間の治世、世宗の類い希なる資質によつて、数多くの果実が実る事になる。

日本史の言う『応永の外寇』では、世宗王は武弱でなかつた。

倭寇の本拠地と見た対馬に水軍をさし向け、倭寇船と島の半分を焼き払う武力も行使した。

1 農業のすすめ

世宗は農業の発展に英知をかたむけた。

農業技術書の発行、朝鮮の曆、天文観測のセットを以て、農業政策の新境地を行く。

『農事直説』（一四三〇年）、朝鮮史最初の農業書である。

世宗は農民たちの農業経験をまとめ、これを出版した。

二つの種の稲をはじめ、八一種の穀物の栽培法をまとめた。朝鮮農法による農業技術のすすめである。

木綿が咸鏡道以外の全地域に普及した。

高麗末、元への使節団の一人（文益漸）がひそかに持ち帰った種子が、全国に栽培されたのだ。（やがて日本に伝来した）

農業には天文、気象が深くかわる。世宗は、世界初となる「測雨器」を全国に設置し、統計をとり、これを生かした。

天文観測においては、世宗は中国の曆法とイスラムの曆法を研究して、『七政算内篇』と『七政算外篇』を編んだ。

言うならば、中国の曆上の季節と朝鮮のそれとの食い違いを、朝鮮に合わせるものであつた。そのために、天体

の運行を観測する器具も製作された。『簡儀』、『渾天儀』の製作がなされた。

農業の発展には、北方への領土拡大がり、耕地の広がりと国土の安全がまた寄与した。なわち、『四郡六鎮』に軍を展開して国境線を押し上げた。

2 医学の発展

朝鮮の医学史は、古代から三国時代までの韓方医という固有な治療術があり、後期新羅から中国の漢方医が取り入れられ融合する。そして李氏王朝時代に、『郷薬集成方』や『東医宝鑑』が著述される。

朝鮮の郷土で生産される薬剤を研究する志向は世宗の治世時、強くなり、一四三三年に『郷薬集成方』が出版された。朝鮮独特な治療、処方研究された。

世宗時代の三大医書としては『郷薬集成方』、『胎産要録』、『医方類聚』（三六五巻）がある。

3 訓民正音の創製

世宗ならばの業績である。

圧倒的な漢字圏の中にあつて、民族文字を創る、その思想こそ、民族性の主張であつた。そして、今一つは、百姓・万民の教育問題の必要性の社会的要請の反映であつたと言える。

ハングルの音系文字、母音の「発見」等々の獨創性に関しては、本「会報」にすでに示したので本稿では再述しない。

4 学術研究・人材の育成

太宗は世宗に「余の臣下を使うのではなく、お前の臣下を使うようにせよ」と助言したと、世宗実録にはある。

世宗は、ブレーンを養成するために、一四二〇年、「集賢殿」を設置した。

世宗は英才たちを「集賢殿」の学士に任命し、学問研究に専念させた。

有給休暇制度を導入し、学

問研究に没頭させた。「訓民正音」の創製も、まさに「集賢殿」の英才たちによつて完成を見たのである。

5 音楽(礼楽)の民族化

世宗は音楽に対する造詣が深かつたことが知られている。

国家儀礼に演奏される雅楽の楽譜(一四三〇年)がつくられていた。

その一方で新楽も制定した。民族音楽である。かくして、朝鮮固有の音楽へと昇華させていった

キース・プラット『朝鮮文化史』の世宗評を述べる。

『真の博識家というだけにとどまらず、時代を先取りする社会的・技術的進歩に刺激を与えるものにふさわしいものだった。』

『神話的な堯と舜に匹敵するような賢者の王の儒教的理想は、実際には達成不可能だったとはいえ、世宗は朝鮮版の適正な代理人となつたよう

だ。世宗は世界一偉大な君主の一人だつた。

ごあんない

市民のつどい

憲法とつむぐ未来

第1部〈講談〉
神田 香織
日本演芸家連合加盟、講談協会理事
「はだしのゲン」

第2部〈講演〉
齋藤 幸平
東京大学大学院総合文化研究科准教授
「奪い合いの経済から分かち合う未来へ」

2024年5月3日 祝 [憲法記念日]

名古屋公会堂 (錦糸公園内)
JR中央線・地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅すぐ
12:00開場 13:00~16:00
〈手話通話・要約筆記(要)提供あり〉

チケット
1,300円
一般 900円
Web視聴 900円

■ 実行あいさつ 愛知県弁護士会会長
■ 司会 長尾 美穂 (弁護士)
■ 閉会あいさつ 杉浦 一季 (名古屋大学名誉教授、愛知憲法会議代表委員)

お問い合わせ: 愛知憲法会議

名古屋公会堂 (錦糸公園内)
JR中央線・地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅すぐ
12:00開場 13:00~16:00
〈手話通話・要約筆記(要)提供あり〉

チケット
1,300円
一般 900円
Web視聴 900円

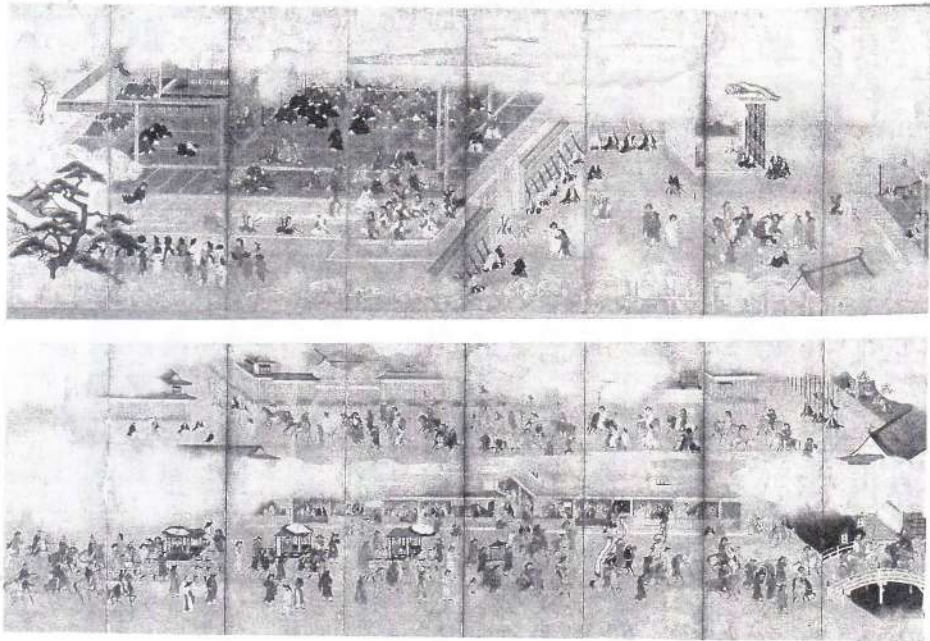
お問い合わせ: 愛知憲法会議

郷土の交流史

『朝鮮通信使、尾張路の旅』補遺
猿猴庵と朝鮮通信使

（六）

堀崎嘉明



朝鮮通信使飲待図屏風（泉涌寺蔵）

インターネットでは、図書館などに出かけなくても資料等が利用でき、歴史探求が便利になった。過日に気になっていた「朝鮮通信使飲待図屏風」（泉涌寺蔵）を人力検索したところ、ユネスコ「世界遺産」登録5周年記念特別展「対馬博物館（二〇二二年）

「朝鮮通信使飲待図屏風」とは

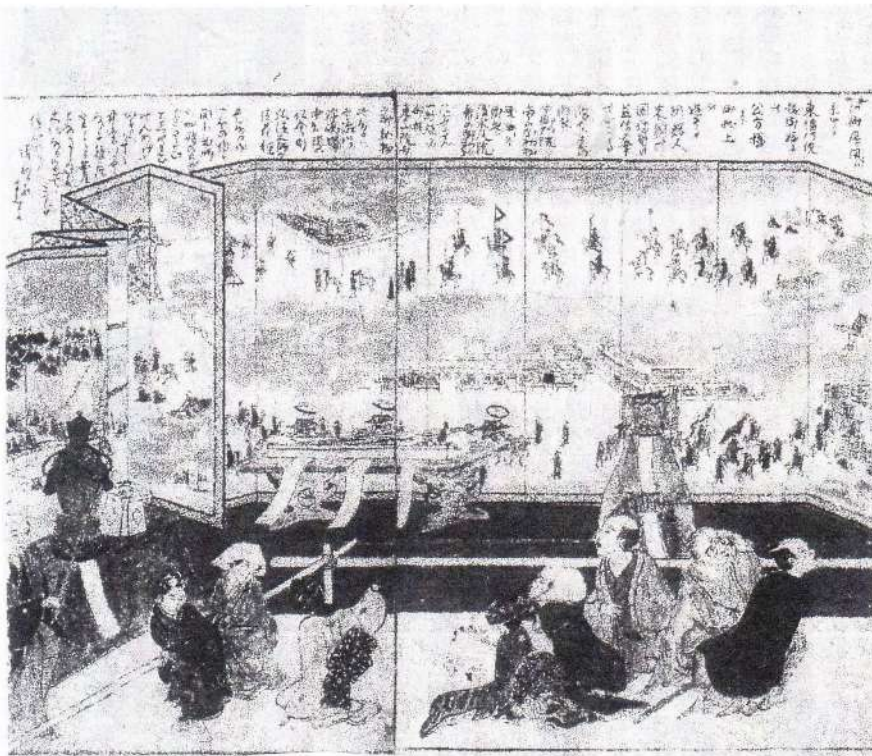
左隻（上）と右隻（下）からなり、上部は朝鮮使節が四代將軍家綱へ国書を奉ずる江戸城内の場面、下部は使節団の江戸市中行進場面が華やかな金地着色で描かれてい



る。作者は幕府御用絵師の狩野益信。明暦使節（二六五五年）を見物する江戸市民、見張りの警備武士が気もそぞろに顔を向け、行列に見とれる姿など興味深い筆がみえ、「江戸到着の行列を実際に見物、描いたものでは最も古い」（ドナルド・トビ）と注目されてきた泉涌寺の寺伝によれば將軍秀忠の娘和子（東福門院）の遺品とのこと、朝鮮通信使を描く数多くの絵画では「最もすぐれた作品の一つ」（『このころの交流「朝鮮通信使」二〇〇一）として、ユネスコの

「世界の記憶」に登録 (二〇一七年) されている。

隣国への眼差し
此御屏風は 忝なくも東福
門院様御好に付 公方様より



泉涌寺靈宝拝見図

御献上被遊たる 朝鮮人來朝
の図 狩野益信の筆である
との詞書が上部に書き添え
られ、画面一杯に描かれた屏
風絵。和子持念の仏舍利が前
に置かれているものの、京都
からの「朝鮮通信使歓待図屏

風」が名古屋で公開されてい
たことが分かる。

時は天明四(一七八四)年
冬。記録では城下に隣接す
る「新出来町大龍寺にて泉涌
寺の靈宝出開帳かが十月五日
より二五日にかけて行われ
た」と、同屏風画を収録の『泉
涌寺靈宝拝見図』(名古屋市
博物館資料叢書3 猿猴庵の
本十三)にある。

屏風の左では上下姿の案内
人による長い棒での説明先へ
多くの子どもたちが目を凝ら
し、さらに右隅では眼鏡姿の
老人や腰に刀差の侍も異国使
節の行列に見入り、楽しんで
いる。当地で禁裏御菩提寺と
なる同寺の宝物が数多く拝見
できるとあつて、大龍寺は参
詣者の群れで連日賑わったと
ある。

「開帳」に出向くのが好き
な猿猴庵、この日も多くの宝
物見物を楽しみ、「名に聞く
ばかりで、絵で見る以外には
拝見することはできない高貴
な品々を目の当たりに拝見で
きることは珍しいこと、あら
ましを写して嘶の種とする」
と感慨を込めた筆を冒頭で記

している。絵の完成は翌年、
作者三十歳の時である。

増え、広がる朝鮮 通信使像

名古屋城下への最後の通信
使来訪から二十年、その余韻
も残るなか「泉涌寺の開帳」
では、多くの宝物とともに「朝
鮮通信使歓待図屏風」が公開
され、見物を楽しみ、隣国人
への関心を高めていたことが
分かる。

かつて筆者は本紙上(四一
八号)四二二号『続朝鮮通
信使、尾張路の旅』二〇二一
年二に収録)で、猿猴庵筆『名
陽旧覧図誌』(東洋文庫)収
録の「朝鮮人名府通行」6
場面と詞書を翻刻紹介した。
それらは名古屋城下へ夜間來
訪の使節一行の尾張藩士・町
民あげての歓迎の情景を鮮や
かに描いたもので、長く「三
世唱和」だけで紹介されてい
た名古屋城下の朝鮮通信使像
を見事に広げ蘇らせるもので
あつたが、この度も貴重な筆
を加えることができた。

※ 次の操作で、ネット上で見られます。

<http://www.aichi-niccho.com/> → <http://www.aichi-niccho.com/> → 2018 → 2018.7

論評

日本に軍事基地は必要なのか

—アメリカ「世界支配」の終わり

文 光 喜
愛知朝鮮学園理事長

正月早々、能登半島で大震災が起きています。防衛省は軟弱地盤で自然宝庫である、辺野古基地の工事に着手した。予算が三倍に膨らみ二兆五千億円も掛けて一二年後の二〇三五年に米軍に渡すという理不尽なことが何故進むのか。日本政府は数、規模、資産価値のいづれをとっても世界のトップにいながら、なぜここまで米国に媚びを売って基地を建設しようとするのか疑問が湧いた【川名2021:337】。

日本は講和条約で独立したというが、果たして対米従属の中で「主権」はあるのか。基地は日本の安全保障のためなのか、米国の「保護領」、「召使」だからか【カレル:28】。隣の朝鮮半島や中国ロシアなどの東アジアの安保問題とは緊密な関係性があると思われ

るが、この点が争点化されることは少ない。いつまで米国は世界各地に基地を設置して超強大国として君臨できるのだろうか。日本、世界という比較軸を設定しながら国際政治の中にある沖縄、日本の基地問題を考える。

世界の米軍基地

世界に紛争があるところには必ず米軍基地がある。米国が海外に展開する軍事基地は二〇一八年時点で三三カ国、六二五あるという【川名2021:337】。第二次世界大戦以前は少なかったが（一九三八年一四カ所）、大戦後、唯一の大国となった米国は経済、軍事援助、あるいは無形の政治的利益等の多様なインセンティブが「基地契約」に包含され、五〇〇〇もの基地を置

くようになった【川名2021:97】。基地は設受国（一〇〇〇人以上の兵員が駐留している国）にとって平時から政治・経済的な利益をもたらす存在へと変容しながら、脅威認識を共有して抑止力として機能することが最も重要な判断基準になっっている【川名2021:337】。

米国は核兵器を世界に拡散し、「核の傘」でアメリカのように広がった軍事同盟網と海外基地から核先制使用戦略を確保している。その海外基地の七〇%を占めるのが日本、ドイツ、韓国である。その中でも突出しているのは米兵五万四千人が駐留する日本であり、欧州ではドイツである。ドイツは連合国の分割統治下から四九年東西に分かれ、冷戦の終結に伴い三〇万人いた米軍が九六年には三万

三千人、戦闘機二四〇機、六カ所基地に縮小され、バイデン政権でサイバー要員五〇〇人が増員された【川名2021:337】。ドイツ世論は五二%が「基地が重要」としたが、「重要ではない」は四五%、一八〜二九歳の年齢層の六二%は「重要ではない」と答えている。一九四九年に創設された北大西洋条約機構（以下NATO）には米軍基地をイギリス、フランス、イタリア、ベルギー、オランダ、デンマーク、スペイン等と地位協定を行い設置した。米国は冷戦終結後の九〇年以降も、中小国を「翼」の中に包み込み勢力圏を拡大しながら、九・一一テロ以降は、重厚長大型から小規模かつ柔軟性の高い基地に整備され、規模と機能に応じて三つ（前方・主要・安全保障地点）に分けられた【川名2021:337】。

韓国では、「太陽政策」で史上初の南北首脳会談を成し遂げた金大中政権が在韓米軍の存在意義を根本的に揺るがした。朝鮮戦争後、前線に配置された米軍は防衛の象徴として、独裁政権下では政治問題となることはなかったが、一九八七年の民主化と冷戦の

終焉は再編を余儀なくされた。「米国にひれ伏さない」とした盧武鉉は二〇〇〇年代に基地を総面積七三二〇万坪から三分の一に整理統合し、兵力も二万八五〇〇人に削減した。二〇〇二年の韓国人中学生二人が米軍装甲車により落命した事件は、大統領選挙の結果に反映され韓米同盟を水平的な関係へと変革する契機を作った。米国は「同盟の再調整」で第二步兵師団を後方地域に移転させ、朝鮮半島域外の有事の基地使用を可能にする世界最大規模の在外米軍基地に整備・拡張して(総面積一四六七万七千㎡四四万坪)平澤キャンプ・ハンフリーズを建設した[川名③:61]。

今も韓国軍の戦時作戦統制権は在韓米軍司令官が持っている。朝鮮戦争時、李承晩が韓国軍の作戦指揮権をマツカ―サー国連軍司令官へと委譲したままである。盧武鉉は「主権国家の権利」として、韓国軍の作戦統制権を二〇一二年四月迄に返還実現を合意したが、〇九年に登場した李明博、朴槿恵政権下で返還条件が見直され、非対称同盟の構図をより鮮明にして指揮権

は米軍が握ったままになった[川名③:84]。次に政権を執った文在寅はF三五Aを購入し、ミサイル射距離制限を撤廃し、尹錫悦は北を「主敵」と宣布し「吸収統一」を叫び、米韓合同軍事演習を従来の二倍の規模で行う戦争挑発行為を行っている。

沖繩基地は何が問題なのか

沖繩の基地が最重要視されるのは、「地理的決定論」だという[川名②:20]。日本の国土面積は三十八万km²で世界六一番目だが、二百カイリの排他的経済水域も入れた海域面積は四四七万km²で世界六番目の大国で、天然ガスやレアメタルが埋蔵されていることは注目の的である[守屋:332]。沖繩は朝鮮半島や中国をにらみ、海の十字路として米軍戦略の重要な要で、アジア最大の米空軍駐留地、嘉手納空軍基地がある。一九八五・五鈔という広さは、成田空港の二倍、三・七km滑走路を二本擁し、一〇〇〇棟の工業用建物や総計二億一五七六万八千鈔の燃料タンクを保有する、米空軍の最大戦闘航空団

の第一八航空団が駐留している[ジョン・ミッチェル:218]。沖繩には、核兵器の種類が多さでは世界のトップで一九種類に達し、五万トンの核弾薬貯蔵施設には射程二四〇〇キロの核ミサイル(核爆発力一・一メガトン、広島原爆の七〇倍以上)「メースB」が配置され、半地下式特別装置と地対地核ミサイルが配備されている[坂田:200]。

沖繩は明治時代から、アイヌ・部落・朝鮮人達と同様に、偏見と差別にとらわれ蔑視されて来た[大脇:60]。戦前は、唯一日本の中で「郷土隊」を持って、米兵が攻めて来たとき、「斬り込み隊」として、最前線に立ち「集団自決」を覚悟して戦争を長期戦に追い込まれた。昭和天皇は「国体護持」を条件に「捨て石作戦」が敢行され、四七年憲法が公布された折、米軍の沖繩軍事占領の二五年(五〇年)の租借方式を提案したのは明らかに憲法四条違反である[大脇:68]。面積は全国の〇・六%、人口は一%の沖繩県が「本土」の「応分の負担」をするなら、九九%の「本土」はその分を負担すべきだ[高橋2021:18]と、沖

繩の歴代知事達(大田昌秀、稲嶺恵一、仲井眞弘多、翁長雄志、玉城デニー)は一貫して「県外移設」を要求し、鳩山元首相の県外発言をきっかけに、県外移設を求める意見書が二〇一〇年の沖繩県議会で可決するまでになった。多くの日本人は無意識的に沖繩に基地を押し付ける加害者意識を持たず、搾取している[野村:100]。米軍基地の県外移設の要求は正当だが、「安保維持」「主権国家」の面から見ても米軍に治外法権的地位を認め「自発的隷従」状態を作り、米国の「敵」から攻撃される恐れにも晒されてきたのである。「本土」の縮小と沖繩の基地負担率が増大することで、安保体制支持率が二〇一〇年代には八割を超え、一五年の世論調査では、「日米同盟強化」と「今のまま」が七六%という調査結果が出ている[琉球新報:15.7.22][高橋:89]。沖繩県民の「不平等」感は八三%、基地を減らすべき五八%、全面撤去一四%の差は沖繩が本土から不可視化されていることを物語っている[大脇:25]。

それでも政府は二〇二四

年度国家予算で軍事費は過去最大の七・九兆円に膨れ上げながら、沖縄への支援幅をカットしている。NSC(国家安全保障会議)において、防衛装備移転三原則で緩和された武器輸出ルートで、自衛隊が保有する迎撃ミサイル「パトリオット」を米国のウクライナ支援に輸出する危険な行為に走っている。政府は敵基地攻撃能力を「反撃能力」として、憲法九条第二項の違反である集団的自衛権の行使に際して敵国の領域内の軍事目標に対する攻撃も可能にしている。それに「特定秘密保護法」「経済安全保障推進法」「防衛産業強化法」等を成立させ、防衛費をGDP比二%増すことは「戦争国家」になっている【週刊金曜日2024.1.5.41】。

嘉手納基地には米兵を含め二万人の住民、二七四六人の日本人が雇用されているが飛行場には二三カ所の井戸から飲料水を使用し、胎児・乳児に害を及ぼす毒物を地元の水系に垂れ流し汚染している【ジョン:119、131】。基地には約八〇〇発の核弾頭、一万三千トン以上の神経剤、マスタード剤、枯葉剤ダイオキシ

ンがあり、パーフルオロ化合物や泡消火剤の流出を三回大量に漏出する事故や六〇倍の高いPOFC値を検出し国際問題になった【ジョン:139】。他にも、航空機から出る悪臭、騒音被害は二〇一七年二月三〇二億円(政府賠償金では過去最大)を二万二〇〇五人の住民に支払うよう命じる一審判決が出たが、未だ確定していない【ジョン:132】。沖縄島の水系が数十年に及んで汚染されていることは犯罪的なことであり、太平洋のジャンクヒープ(クズ鉄山)になっっている恥辱を許してもよいのだろうか【ジョン:140】。

日米安保条約は米軍が駐留の権利を持つが、日本の防衛義務は負わず、いつでも極東に出動できる「不平等なもの」であり、「相互防衛条約」ではない。核を「作らず、持たず、持ち込ませない」非核三原則は米軍がNCND政策(いかなる国においてであれ、核兵器を構成する核コポーネントの存在については、肯定も否定もしない Neither Confirm Nor Deny)を維持している限り、

「持ち込ませない」原則は偽りである。

「日米核密約」は米国の核持ち込みを保証し、核戦争基地として維持するものであり、六七年、沖縄の海兵隊基地で核地雷の強化訓練中に、重大な放射能漏れ事故が発生したことは二〇一一年に公表されて世界を驚かせた。核兵器を積んだ海軍艦船の日本への寄港は一九五三年の空母オリスカニの横須賀寄港以来恒常化しており、二〇一一年福島大震災のおり、原子力空母ロナルド・レーガンやサンホアキン・カウンティ号には核爆弾を積載したことは衆知のことである。

今も日本は原潜・空母の寄港に何ら異議を唱えないのは解せないことである。

アメリカ世界秩序の終焉

冷戦が終わった二一世紀は共産主義国と資本主義国の二重構造が瓦解した後、アメリカによって支配される一極構造にはならなかった【カレル:117】。二〇〇三年、WT

O会議ではBRICSが国際貿易分野で富裕国の決定には従わないと宣言し、G20の誕生を促した。貧困国が不正な競争や障害に邪魔されることなく、富裕国の圧力に耐え世界銀行やIMFに異議を申し立て、ラテンアメリカ諸国の台頭は先進国から開発途上国へとグローバル経済のパワーが転換された事実を示している【カレル:118】。

二〇〇六年、アフリカ四八カ国の国家元首が北京に集まる重大な出来事があった。石油供給源としてのアフリカはOPECに所属する国が少なく、石油諸国パワーに対しバランスをとれる立場を保ち、原油精製価格が安いことから重要な競争の舞台になっている【カレル:122】。アフリカ三二カ国中、二六カ国が自由主義経済体制だが、そこに中国が五〇億ドルを供与して、戦略的パートナーとして互恵主義に基づいた対等の関係を構築している。中国はアングラと鉄道等のインフラの再建の依頼を受け、海上油田の権益を二二億ドルで落札し、ナイジェリアの一三一五キロの鉄道プロジェクトを総額八三億ドルで受注している【カレル

年度国家予算で軍事費は過去最大の七・九兆円に膨れ上げながら、沖縄への支援幅をカットしている。NSC(国家安全保障会議)において、防衛装備移転三原則で緩和された武器輸出ルートで、自衛隊が保有する迎撃ミサイル「パトリオット」を米国のウクライナ支援に輸出する危険な行為に走っている。政府は敵基地攻撃能力を「反撃能力」として、憲法九条第二項の違反である集団的自衛権の行使に際して敵国の領域内の軍事目標に対する攻撃も可能にしている。それに「特定秘密保護法」「経済安全保障推進法」「防衛産業強化法」等を成立させ、防衛費をGDP比二%増すことは「戦争国家」になっている。「週刊金曜日」2024.1.5.41]。

「持ち込ませない」原則は偽りである。「日米核密約」は米国の核持ち込みを保証し、核戦争基地として維持するものであり、六七年、沖縄の海兵隊基地で核地雷の強化訓練中に、重大な放射能漏れ事故が発生したことは二〇一一年に公表されて世界を驚かせた。核兵器を積んだ海軍艦船の日本への寄港は一九五三年の空母オリスカニの横須賀寄港以来恒常化しており、二〇一一年福島大震災のおり、原子力空母ロナルド・レーガンやサンホアキン・カウンティ号には核爆弾を積載したことは衆知のことである。

今も日本は原潜・空母の寄港に何ら異議を唱えないのは解せないことである。

アメリカ世界秩序の終焉

冷戦が終わった二一世紀は共産主義国と資本主義国の二重構造が瓦解した後、アメリカによって支配される一極構造にはならなかった「カレル」¹⁾。二〇〇三年、WT

〇会議ではBRICSが国際貿易分野で富裕国の決定には従わないと宣言し、G20の誕生を促した。貧困国が不正な競争や障害に邪魔されることなく、富裕国の圧力に耐え世界銀行やIMFに異議を申し立て、ラテンアメリカ諸国の台頭は先進国から開発途上国へとグローバル経済のパワーが転換された事実を示している「カレル」¹⁾。

二〇〇六年、アフリカ四八カ国の国家元首が北京に集まる重大な出来事があった。石油供給源としてのアフリカはOPECに所属する国が少なく、石油諸国パワーに対しバランスをとれる立場を保ち、原油精製価格が安いことから重要な競争の舞台になっている「カレル」¹⁾。アフリカ三二カ国中、二六カ国が自由主義経済体制だが、そこに中国が五〇億ドルを供与して、戦略的パートナーとして互恵主義に基づいた対等の関係を構築している。中国はアンゴラと鉄道等のインフラの再建の依頼を受け、海上油田の権益を二二億で落札し、ナイジェリアの一三一五キロの鉄道プロジェクトを総額八三億で受注している「カレル

【注】

- i 川名晋史『世界の基地問題と沖縄』明石書店2022①。
- ii カレル・V・ウォルフレン『アメリカからの「独立」が日本人を幸福にする』実業之日本社2003
- iii 川名晋史『基地はなぜ沖縄でなければいけないのか』筑摩書房2022年②。
- iv 川名晋史『基地問題の国際比較 「沖縄」の相対化』明石書店2021年、『基地の政治学—戦後米国の海外基地拡大政策の起源』白桃書房2012
- v 佐々山康弘『パックスアメリカーナのアキレス腱—グローバルな視点から見た米軍地位協定の比較研究』お茶の水書房、2019年
- vi 守屋武昌『「普天間」交渉記録』新潮社2010年
- vii ジョン・ミッチェル『日米地位協定と基地公害—「太平洋のゴミ捨て場」と呼ばれて』2018
- viii 大脇雅子『武力によらない平和を生きる—非暴力抵抗と平和的生存権』旬報社2023年
- ix 高橋哲哉『日米安保と沖縄基地論争<犠牲のシステム>を問う』朝日新聞出版2021年、18-19頁。
- x 野村浩也『無意識の植民地主義—日本人の米軍基地と沖縄人』御茶ノ水書房、2005年。
- xi 波多野澄雄『歴史としての日米安保条約』岩波書店。
- xii カレル・V・ウォルフレン『日本人だけが知らないアメリカ「世界支配」の終わり』徳間書店2007年
- xiii アミタフ・アチャリタ『アメリカ世界秩序の終焉』ミネルヴァ書房2022年。

講座「朝鮮半島と日本との交流史」第2回シリーズ

ごあんない

朝鮮と古代日本のきずなを求めて

邑翠文化フォーラムの願い

邑翠文化フォーラムは、若草のような緑で溢れる社会を目指します。

朝鮮半島と日本との間には古代から交流が脈々と続いてきています。これは明治以来の考古学や歴史の研究によって明らかになっています。日本人のDNAに半島から渡来した人々の影響があることも否定できません。

21世紀の今、東海地方には多彩な人々が生活しています。日本人はもちろんのこと、二つの祖国に別れている在日の人々、日本籍にかえった元在日の人々、そして、増え続けるニューカマーが混在しています。ところが、相互の交流はほとんど無いままです。

邑翠文化フォーラムは、こうした現状に一石を投じようとしています。継続的な講座の開催で、古代以来の朝鮮半島と日本との文化的交流の歩みを確認いただき、受講した人々がそれぞれの立場を超えて互いを認め合い共存できるような努力する考えております。

意識の変化や価値観の多様化が進む社会で、日韓と南北をずっとと親しくできる民衆を実現し、分散し傷ついた早利ウリ社会に安寧をもたらす夢、協力和解に自己実現の価値を求める次世代に希望の輪をかけてあげるビジョンを持ち、不亂に進進するつもりです。

2024年 **3.24日** 13:30 開場
14:00 開始

名古屋国際センター
大ホール

【参加費】1000円
学生無料・定員120名

高句麗僧・

慧慈と聖徳太子

【講師】李成市先生

早稲田大学名誉教授

1952年名古屋市生まれ。日本歴史学協会常任委員、韓国木簡学会会長などを歴任され、現在、在日韓人歴史資料館館長、木簡学会委員(日本)、財団法人朝鮮梁学会評議員。日本における古代東アジア史・朝鮮史研究の第一人者。木簡研究から日本の漢字文化のルーツが朝鮮半島にあることを解明するなど多くの研究業績がある。『東アジアの王権と交易』(青木書店)、『闘争の場としての古代史』(岩波書店)など著書も多い。

お申し込み

WEBでのお申し込み

右記のQRコードからお申し込みください

FAXでのお申し込み

下記のフォームにご記入の上、0568-84-8674 までお願いします。



いま面白い市民運動の情報誌

グループ紙誌
拝見

●平和新聞・愛知版

(二〇二四・二・五 編集) 愛知県平和委員会/名古屋市東区

○核兵器禁止条約発効三周年

○日本政府こそが条約参加を

○あいち総がかり行動19集

○自民政治を終わらせよう

○被爆者励ますつどい&フィールドワーク/高校生平和ゼミナール

●草の根

(二〇二四・二・六 発行) 原水爆禁止愛知県協議会/名古屋市中区

○「反核・平和新春のつどい」

○外交の欠如が戦争につながる

○日本政府に核兵器禁止条約

の署名・批准を求める署名/

ほか

●なごや市職

(第二四〇〇号) 二〇二四年二月一日 発行 名古屋市中区三の丸

○職員たちの切実な声/「職場の人員を増やしてほしい」

二〇二四働くみんなの要求アンケート結果

○会計年度任用職員、十一名が組合加入へ/「学習会で組合に興味がありました」/熱田区役所支部

○誰もが安心して働き続けられる職場を/障がい者職員交流集会

ほか

●ととり通信

(第二八号) 二〇二四・一・三 発行 朝鮮高校無償化ネットワーク

○愛知/ととりの会/連絡先・愛知県豊明市

○公開・交換授業/愛知朝鮮

ほか

●あま東部

(No.181) 二〇二四・一・二 発行 愛知あま東部平和委員会/海部郡大治町

○「学びと行動」を合言葉に出足早く前へ!/反核平和新春のつどい/平和運動は何をすべきか

○元日宣伝/今年も熱田から

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

○「リレーエッセイ」つながる平和のバトン/松永洋子

佳さん

ほか

●センタージャーナル

(二二六号) 二〇二三・二・二五 発行 真宗大谷派名古屋教区教化センター/名古屋市中区橋

○耳根清徹にして、苦患に遭

わすく荒山 淳

ほか

●ポラム

(第一四五号) 二〇二四・二・三 発行 岐阜朝鮮初中級学校の子どもたちを支援するポラムの会/岐阜市長良

○今年の干支はドラゴンか竜か?/後藤輝美

○明日に向かって 差別から信頼へ/堀 無明

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

○岐阜市長さんの発言に思う/安西玲子

ほか

●瀬戸地下軍需工場跡を保存する会会報

(第一七九号) 二〇二四・一・十五 発行 同会/瀬戸市

○言葉(記録)と心(人間)を蔑ろにする者たちに抗う/寺脇正治

○みなさん、どう思われます?

○みなさん、どう思われます?

○みなさん、どう思われます?

ほか

／地下工場跡地の陥没穴や溝は戦争遺跡か？

○六月九日 愛知時計襲った空襲①く堀口秋彦

●愛労連 (第三六七号) 二〇二四・二 発行 愛知県労働組合総連合/名古屋熱田区

○大企業は社会的責任をはたせ/二〇二四国民春闘トヨタ総行動を成功させよう

○「オピニオン」賃上げは私たちの手にある/被災地に寄りそいたたかおう

○労働組合が奨学金問題から救う/奨学金制度の闇と解決の展望

●日中友好新聞・愛知県連版 (二〇二四年二月一日) 発行

|| 日中友好協会愛知県連/名古屋千種区

○中国百科検定 合格者・喜びの声

○名古屋春節祭/県連もブースで参加

○【中国ものしりコーナー】

中国五岳/泰山・華山・衡山・恒山・嵩山

●日本とユーラシア・愛知版 (二〇二四・一・一五) 編集

|| 同協会愛知県連合会/名古屋市東区

○ロシア語受講者を増やす/服部 和

○第八回新春サモワールお茶会

○ロシアでの人権保障はどうなっている? / 過激派活動取締法に対する憲法裁判所の憲法判断/杉浦一孝

●半田・戦争を記録する会通信 (No.九五) 二〇二四・一・十

発行 || 同会/半田市

○「空襲を追体験するつどい」開催/No.一三戦争と平和を考えるつどい

○戦時動員・震災犠牲者追悼式

○成岩小学校で平和出前授業

●革新・愛知の会

ほか

(第三四五号) 二〇二四・二 発行 || 同会/名古屋熱田区

○「インタビュー」川瀬まゆみさん || お互いの違いを認め、ともに生きる、人に優しい社会を/心が動く「感動」が人を変える

○自民党政治を終わらせよう! / 「市民と野党の共闘」の再構築で

○「近ごろ思う事こと」藤川誠二さん || 志賀原発での想定外トラブル/早急に規制基準の見直しを



★全国からの通信

日朝協会

【埼玉版】二〇二四・二・一

○写真/韓国から埼玉県小川

町へ農業研修団

○会員を増やし、新たな前進の年に/関原正裕

○夢を語り、未来を語ろう/新島善弘

【群馬版】二〇二四・二・一

○群馬の森 朝鮮人追悼碑撤去に抗議

○戦時中の群馬県内 朝鮮人動員現場一覧(40カ所)

○原発は文明のお化け/フクシマを忘れない! / 二〇二三年の原発を振り返る/新井忠夫

【福岡版】二〇二四・二・一

○「あれこれコリア」西大門刑務所歴史館⑤/田中美由紀

○戦争の総括はせず「一億総懺悔」

○「韓国のマスコミ」3月、朝鮮半島に「危機の春」が来る

表紙 || 三浦雅子